



防災・災害対策分野の取組



目標

桜島地域における
避難体制の再構築

取組

- ・住民の避難状況の把握
- ・避難行動要支援者の避難体制確立
- ・避難訓練の充実強化

桜島火山爆発総合防災訓練

取組の一つである、「避難訓練の充実強化」を図るため、毎年度様々な状況を想定した訓練を実施しています。今回は、今年度実施した主な訓練をご紹介します！

島内避難訓練（令和3年7月20日実施） 場所：桜島（島内避難対象地区）

～「噴石飛散に伴う警戒範囲の拡大（3.5km）を想定した迅速な島内避難体制の確立」～

☆主な訓練内容

- ① 防災関係機関等と連携した避難対象地域住民の迅速な避難体制の確認
- ② 避難促進施設所管課と避難促進施設が連携した避難体制の確認
- ③ 防災関係機関等の島内避難支援、道路閉鎖及び交通規制等の処置



消防による戸別訪問



バス避難

住民避難訓練（令和3年11月20日実施） 場所：桜島全域

～「大規模噴火を想定したタイムラインに基づく、避難完了板を活用した桜島住民主体の避難訓練」～

☆主な訓練内容

- ① タイムラインに基づき、町内会（自主防）、民生委員及び消防団等の連携による「避難完了板」を活用した住民主体の避難訓練
- ② 避難確保計画を踏まえたタイムラインに基づき、避難促進施設と施設所管課が連携した観光客の避難誘導及び施設閉鎖
- ③ 防災関係機関等による、自助、共助で対応困難な要支援者等の避難支援



「避難完了板」の掲示



DMATによる搬送支援

避難所体験・展示訓練（令和4年1月8日実施） 場所：清水中学校

～「大規模噴火に備えた避難行動を学び、防災意識を次世代につなげる避難所体験・展示訓練」～

☆主な訓練内容

- ① 住民（桜島・市街地）への意識啓発
- ② 避難所体験訓練
- ③ 災害時を想定した展示訓練
- ④ 次世代を担う生徒への火山防災教育



清水中生徒への説明



応急・復旧訓練